

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年3月3日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部商学科
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2024年2月19日
明治大学卒業予定年月	2024年3月
留学先大学について	
留学先国	フランス
留学先大学	ヴェルサイユ大学(日本語名) Université de Versailles Saint-Quentin-en-Yvelines (現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	フランス語/英語
留学期間	2023年9月～2024年2月
留学先大学で在籍した学年	(所属なし)年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称:  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月中旬～1 月上旬 2 学期: 1 月下旬～6 月上旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	2 万人弱(UVSQ 以外も含む大学グループ全体)
創立年	1991 年

## 留学費用

留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	日本円	備考
授業料		円	
宿舍費	2000	320000 円	(300€弱/月)
食費	1500	240000 円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	66	10560 円	
現地交通費	375	60000 円	1年間の全ゾーン対応定期購入 ( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		円	形態:
渡航旅費	2000	320000 円	
ビザ申請費	100	16000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	6041	966560 円	その他、留学中の旅行費用

## 渡航関連

### 渡航経路

往路 出発地:羽田 目的地:CDG 経由地:なし

復路 出発地:CDG 目的地:羽田 経由地:フランクフルト

### 渡航費用

① 往復チケットを購入した場合  
航空会社:ANA

料金:32 万円

② 片道ずつチケットを購入した場合  
往路 航空会社:                      料金:

復路 航空会社:                      料金:                                      ∴合計:

### 航空券購入方法

旅行代理店(店名:                      )

インターネット(サイト名:ANA 公式)

その他(                      )

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)

学生寮(寮の名前:Résidence Jacqueline AURIOL)     アパート     ホームステイ

2) 部屋の形態

個室     相部屋(同居人数                      )

3) 共有部分

バス     トイレ     キッチン( 自炊可     自炊不可)

4) 住居を探した方法:

大学公式からのアナウンスで、提携している寮から割り当て

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

僕が滞在していた寮は全てが自分の部屋についていて、衛生的かつ狭くなかったので非常に快適でした。しかし、他の寮に関しては狭かったりアクセスが悪かったりと、あまり良くないという噂も聞いたので寮選びは大事だと感じました。僕は前年度 UVSQ に留学された方にコンタクトをとって色々聞いていたので、おかげで良い寮を取ることができました。(もし UVSQ に留学を検討している方がいれば、留学事務室の方経由でコンタクトいただければと思います。)  
また寮の割り当ての際、VISA の書類がないと寮の手続きが進められないと言われたものの、VISA が発行されるのが遅く書類を送れず、何度も寮の割り当てを解除するという通告がありました。ただ事情を説明して交渉すれば問題なく確保できたので、しっかりとメールで意思表示をするのが大切です。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

基本的にはツイッターでフランス情報を発信している日本人や現地メディアをフォローしていました。

また、現地の友人とそういった話題を定期的にするので、何か情報があったときはお互いすぐに共有していました。留学生同士の連絡グループでもよく話題になるので、定期的にチェックしていました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

一部のメトロや郊外に向かう電車の中ではネットワークの接続が悪かったですが、基本的な使用は問題なかったです。寮のWiFiは、僕は問題なかったですが、部屋によって不安定だったようです。

街中のカフェにWiFiが多いイメージはないですが、携帯契約が安いことが多いので、自分の使用量に応じて適切なプランを契約することが肝要かと思います。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

僕は開設しませんでした。多くの友人は無料で現地の口座を解説して送金してもらい、家賃引き落とし等に使っていました。

私は口座を閉じたりするのが面倒だったので基本全てクレジットカードを使用していました。現金は留学当初に15万円分ほど換金していきましたが、あまり使う機会はありませんでした。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

パリは都会なので基本的に調達できないものはありませんが、日本食は高いのでレトルト等を一定数持ってくると良いと思います。また、クイックルワイパーや排水溝ネットなどの便利グッズは充実していない上にあったとしても高いので、持ってくることを強くお勧めします。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

負担なし

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
(帰国後 1 ヶ月経っても判定が出ていません)単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:4 年秋のため)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Geopolitical and Economic issues in Northern America	北米地政学
科目設置学部・研究科	
履修期間	4 ヶ月
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面少人数ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Alexandra boudet Brugal
授業内容	北米 3 か国の歴史を踏まえた現在の経済や政治の問題に関する講義と議論
試験・課題等	2 回の小テスト、1 回の期末テスト、1 回のプレゼン、1 回のレポート
感想を自由記入	課題やテストは他の授業に比べると重かったですが、内容は非常に面白く、また先生の英語も聞き取りやすかったため参加する上での苦労はあまり大きくなかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Development, Growth and inequalities	世界経済の発展と成長と不平等
科目設置学部・研究科	
履修期間	4 か月
単位数	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面での講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Mateo Cordier
授業内容	統計学を元にした、世界各国での経済発展における課題とそれが生み出す不公平や不平等についての講義と議論
試験・課題等	期末テストが 1 回のみ予定だったが、先生のご家庭の事情で講義が数回なくなった結果、期末テストに加えて簡易的な課題が複数回与えられた
感想を自由記入	配られた資料の量はとても多かったです、先生の説明も簡潔で質問もしやすかったのでもっと理解が進む講義でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
FLE Grammer / Civilization	留学生向けのフランス語授業
科目設置学部・研究科	
履修期間	5 ヶ月
単位数	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面での講義と会話の実践(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Guehr lawajih
授業内容	Grammer: 特定の文法について学びつつその練習問題を解いたり会話表現をペアになって練習 Civilization: フランスに関する資料や映像を見て実用的なフランス語を見聞きし、それを通して文法や単語を覚える
試験・課題等	Grammer: 数回の小テストと期末の課題、1 回のプレゼンテーション Civilization: 2 回のプレゼンテーション
感想を自由記入	内容自体は勉強になるものが多かったのですが、留学生全体をフランス語レベルでざっくり2レベルに分けた構成のため、同じレベルでも学生同士のフランス語力にだいぶ差があり、毎回補足が多かったりするなど授業進行はスムーズではなかったです。ただ、他の留学生と仲良くなる貴重なタイミングだったり、フランス語力の高い友人と練習できる機会ではあったので、参加してよかったと思っています。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Escalade	クライミング
科目設置学部・研究科	
履修期間	4ヶ月
単位数	
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	学内のクライミング場で実施(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Christel Allegri
授業内容	自学自習でクライミングの方法を学習実践し、期末テストで確認
試験・課題等	期末に自分でコースを指定して挑戦し、担当の先生がその出来を評価
感想を自由記入	経験者の生徒が複数人いたこともあって、自分たちでコミュニケーションをとって教え合い、練習してできるようにしていくスタイルでした。自然と現地学生と関わる機会にもなって、貴重かつたのしい授業でした。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)
<input type="checkbox"/> 就職 <input checked="" type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等
<a href="https://xplane.jp/">https://xplane.jp/</a>
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
海外大学院進学、進学先未定
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
あまり文系で大学院に進学する人、さらには海外大学院に行く人は少ないので、人伝でそれに詳しい方や先輩を探してアドバイスを乞うことが大事だと感じました。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	留学の意思決定
	8月～9月	IELTS取得・志望理由書の執筆
	10月～12月	経験者に志望理由書の添削をしてもらう・出願と面接
留学開始年	1月～3月	留学先決定
	4月～7月	ビザ取得・航空券購入
	8月～9月	滞在先確保・出発
	10月～12月	留学先期末試験
留学/帰国年	1月～3月	帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

私は海外旅行が好きで、ヨーロッパ留学すれば他のヨーロッパの国への旅行がしやすくなることや、長く生活することでしか気付けない学びがあるのではないかと考えて留学をすることにしました。実際に留学をしてみて、現地の風土や歴史を学んでこそ得られる気づきや、日本との違いなどを感じることができましたが、自分の中で最も大きな学びは「留学それ自体は全くすごいことではない」「海外にいる日本人＝挑戦的ですごい人、ではない」ということです。これらは文字で見ると当たり前だと思うかもしれませんが、実際のところ日本社会では留学していると無条件で尊敬されがちのところがあったり、海外生活というだけで過度に大変なイメージを持たれがちだと感じています。しかし実際に留学に行ってみて、留学先での稀有な経験や自分の視点の変化は、成長へのきっかけにはなるけど、留学という行為それ自体は変化への触媒でしかないと感じました。また、海外での生活は実際に言語やマナーなどの常識さえ理解すれば日本とさほど変わらないため、多くの日本人のイメージは知識のなさゆえの崇拜的な思考なのではないかと気づきました。

半年間で得たこうした気づきを踏まえて現在は、自分が他人について判断したり、自分のキャリアを考える時に、できるだけ無知ゆえのイメージは取り除いて考えたり、何事も多角的な視点を持って事実ベースで判断できるようになったと思っています。

少し遠回りな書き方をしてしまいましたが、実際に広い世界を見て、様々な観点で自分が抱いていたイメージとの差分を知ることは、留学だからこそ得られる貴重な経験で、今後の人生にあたってプラスになる財産だと感じました。もちろん、留学で得られるものはこうした気づきだけではなく、様々な変化があると思います。何を得られるかはその人の過ごし方次第ではありますが、新たな変化に期待して留学に行ってみることは、今だからこそできる貴重な体験だと思うので、ぜひ悔いのない選択をしてみてください。